

# 恒温槽の JCSS 校正

校正結果は、ILAC/APACのMRA（相互承認取決）を通じて、国際的に受け入れられます。

## ■ 対象測定器

恒温槽・試験槽・保管庫・オーブン等



写真提供：楠本化成株式会社エタック事業部

## ■ 校正範囲及び校正の不確かさ

種類	校正範囲	校正の不確かさ ( $k = 2$ )
指示計器付温度計 (恒温槽装備)	-40 °C 以上 200 °C以下	0.25 °C

JCSS校正では、恒温槽が装備する指示計器付温度計の校正を行います。  
校正位置は恒温槽センサの近傍または槽内任意位置（中央など1点以上）となります。  
湿度は一般校正にて対応いたします。  
表内の拡張不確かさ算出には『周囲温度変動の影響』は含みません。

**各種規格対応の試験（ご利用に際しては条件がありますので、事前にご相談ください。）**

JIS C 60068-3-5、60068-3-6、JTM規格などに対応します。

試験内容：温度分布、温度変動、空間温度偏差、温度こう配、温度変化速度 など

## ■ 校正のご利用方法

